



パートナーシップ通信 vol 1

2019.5

市立札幌病院は、2016年より、福井大学医学部附属病院で開発された看護提供方式である PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）について学習を進めるとともに、数部署から試行を始め、年間パートナーや休日のペア業務など一定の取り組みを経て、2019年度より全病棟で導入しました。

導入に向けては、各部署から PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）実行委員を選出し、毎月テーマを決め、グループディスカッションを行う他、部署での取り組みや課題について全体会も開催しました。昨年度は、市立札幌病院パートナーシップ・ナーシング・システムガイドラインも完成し、今後はこのガイドラインを基に、各部署でパートナーシップマインドを学びながら、本格的に PNS を構築していくことができるように取り組んでいます。

2018年度 PNS 実行委員全体会の様子



マインドの醸成に向けた取り組みと PNS に向けた業務改善の内容について発表し、ディスカッションを行いました



全体会を通して、部署から多くの肯定的な意見が聞かれました

- ★（新人看護師から）不安な点を見守ってもらえることで安心感を持つことができた
- ★二人だと不安や疑問点をその場で話し合い解決できるので安心して業務を行うことができる
- ★ペアで動くことで、早くから多くの看護技術を体験でき、直接学べる

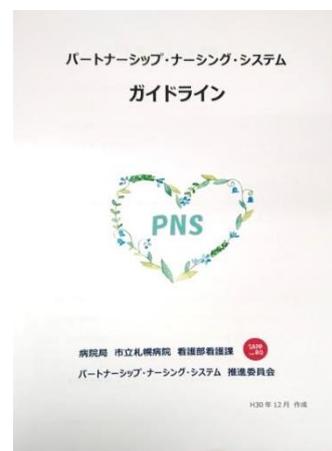
5階東病棟の PNS 一場面



注射実施前にダブルチェック！



業務開始時の情報共有



PNS 導入のポイントから PNS の実際・研修・学生受け入れ体制等について説明しています！